



文部科学省科学研究費補助金「新学術領域研究(研究領域提案型)」(平成22~26年度)

直截的物質変換をめざした 分子活性化法の開発

第5回公開シンポジウム

[会期] 平成25年5月30日(木)13時30分 ~ 31日(金)15時

[会場] イーグレ姫路3階 あいめっせホール(姫路市本町)

[交通] JR姫路駅から姫路城(北)の方角へ歩いて約600m(大手前公園南側)

<http://www1.winknet.ne.jp/~egret-himeji/12-map/map.htm>

[参加申込] 当領域 webサイトのイベントページで受付けています。

<http://www.molecular-activation.jp/event.php>

[参加費] 無料

[懇親会] 5月30日のシンポジウム終了後、イーグレ姫路4階 展望レストラン・ミレ
(懇親会出席者は当日受付にて懇親会費をお支払い願います)

特別講演

Michael J. Krische (Univ. Texas at Austin)
「Hydrogenation for C–C Bond Formation」

シンポジウム講演

- 中尾 佳亮 (京大院工)「協働金属触媒によるシアノ官能基化反応」
佐藤 美洋 (北大院薬)「二酸化炭素をC1ユニットとして利用したアミノ酸類の合成」
中村 達 (東北大院理)「触媒的骨格転位を活用する結合活性化法の開発」
向 智里 (金沢大院医薬保)「アレン–アルキンの環化反応を基盤とするC–C 及びC–H活性化」
山口 潤一郎 (名大院理)「多分子結合活性化による生物活性分子の合成研究」
塚野 千尋 (京大院薬)「シクロプロピル基メチン部位のC(sp³)–H活性化を利用したスピロオキシインドール合成の検討」
森本 積 (奈良先端大物質)「アルデヒド類の脱カルボニル化的活性化を基軸とした触媒的カルボニル化反応」
柴田 高範 (早大先進理工)「カチオン性イリジウム触媒による不活性結合の活性化」
伊東 忍 (阪大院工)「アルカンおよびアルケンの直截的酸素化反応をめざした新規金属オキソ種の創出」
森 聖治 (茨城大理)「量子化学計算に基づく分子活性化の活性種および反応機構の解明」
斎藤 進 (名大院理)「分子性の触媒表面を用いる不活性アミドの触媒的水素化」
水田 勉 (広島大院理)「テトラホスファミクロサイクル金属錯体によるCO₂のメトキシ基への還元反応」
濱崎 昭行 (九大院理)「酸化物担体から発生する金属カルボニル類似活性種を利用したカルボニル化反応」
竹本 真 (阪府大院理)「メタロカルベンの創出と反応活性種としての性質の解明」
後藤 敬 (東工大院理工)「巨大分子空孔を活用した生体内における活性窒素種の反応過程に関するモデル研究」
原 賢二 (北大触セ)「規整表面上での金属錯体の精密集積による新規触媒反応場の構築」
藤原 哲晶 (京大院工)「ポリエチレングリコール鎖を導入した含窒素複素環カルベン配位子の開発とパラジウム触媒反応への応用」
安田 誠 (阪大院工)「πポケット反応場を有する金属錯体」
久枝 良雄 (九大院工)「ビタミンB12誘導体と光増感剤の組合せによる触媒系の構築と分子変換反応」

■領域代表/ 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 茶谷 直人

■領域事務担当/ 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 林 高史

Tel.06-6879-7928 Fax.06-6879-7930 E-mail: activation@chem.eng.osaka-u.ac.jp <http://www.molecular-activation.jp/>

■主催/ 新学術領域研究「直截的物質変換をめざした分子活性化法の開発」総括班 ■後援/ 日本化学会